Better Health, Brighter Future

第142回定時株主総会

クリストフ・ウェバー
代表取締役　社長 CEO

2018年6月28日

重要な注意事項

将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含みます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

2018年度の武田薬品の業績予想について

武田薬品は現在、Shire plcに関するオファー期間（英国のCity Code on Takeovers and Mergers （以下、「コード」）において定義される期間をいいます。）にあります。コード第28条に基づき、武田薬品による2018年度のガイダンスに関する見解（2018年度における売上収益、コア・アーニングス、営業利益、税引前当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、EPS、研究開発費、無形資産償却費及び減損損失、収益/費用、並びに実質的な売上収益、実質的なコア・アーニングス及び実質的なコア EPSに関する予想情報を含みます。）は、2018年度における業績予想（以下「武田薬品業績予想」）を構成します。
武田薬品業績予想に関する追加情報及び取締役による当該業績予想が有効なものであり、上掲の前提及び当社の会計方針に基づき適切に作成されている旨の確認につきましては、2018年5月14日付けの武田薬品2018年3月期決算短信をご参照ください。

タケダの変革の道のり

創業: 1781年

タケダは世界中の患者さんに革新的かつ変革をもたらす治療を提供できる体制が整っています

価値観重視

- **タケダイズム**
  誠実: 公正、正直、不屈
- **患者さん中心**
  >社会との信頼関係構築
  >レピュテーション向上
  >事業の発展
- 医薬品アクセス
- 積極的なCSR

グローバル、機動的、革新的

- **日本における**
  リーディングカンパニー
- **グローバルな**組織と事業体制
- **患者さんを中心とする考え方と権限移譲**を推進
- 生産性向上のための**研究開発の活性化**

世界水準のガバナンス及び多様性に富む経営陣

- 独立社外取締役が過半数を占める**取締役会**
- **多様性に富んだ経営陣**
- **人材育成**重視

事業ポートフォリオの成長

研究開発パイプラインの強化

利益率の向上

経営の基本精神

バリュー (価値観)

誠実
Integrity

公正
Fairness

正直
Honesty

不屈
Perseverance

私たちは、4つの重要事項について、その優先順位に従って考え、行動や判断の基準とします。

1	2	3	4
常に患者さんを中心に考えます	社会との信頼関係を築きます	レピュテーションを向上させます	事業を発展させます

ベスト・イン・クラスのガバナンスを有する取締役体制

社内取締役

クリストフ・ウェバー
代表取締役
社長CEO

岩﨑 真人
取締役
ジャパン ファーマ
ビジネスユニット
プレジデント

アンドリュー・プランプ
取締役
チーフ メディカル&
サイエンティフィック
オフィサー

CC 報酬委員会

NC 指名委員会

独立社外取締役

社外取締役

坂根 正弘
独立取締役
取締役会議長
指名委員会委員長

ミシェル・オーシンガー
独立取締役

志賀 俊之
独立取締役
報酬委員会委員長

東 恵美子
独立取締役

藤森 義明
独立取締役

監査等委員会

山中 康彦
取締役
監査等委員

国谷 史朗
独立取締役
監査等委員長

初川 浩司
独立取締役
監査等委員

ジャン=リュック・ブテル
独立取締役
監査等委員

2017年度は17のステージアップを達成
(前年度のステージアップ数は５)

	PHASE 1	PHASE 2	PHASE 3/申請	承認*
				*新規のまたは追加の効能取得を目的とした開発
オンコロジー（がん）	**TAK-573** Teva Anti-CD38 attenukine Refractory MM **TAK-079** Anti-CD38 mAb Refractory MM **XMT-1522** Mersana Therapeutics HER2 dolaflexin ADC HER2+ Solid Tumors **TAK-788** EGFR/HER2 inhibitor NSCLC	**sapanisertib** mTORC 1/2 inhibitor Endometrial Cancer **TAK-659** OD SYK inhibitor DLBCL **TAK-931** CDC7 inhibitor Solid Tumors	**pevonedistat** OD NAE inhibitor HR-MDS/CMML/LB AML **relugolix** Myovant GNRH antagonist Prostate Cancer (JP)	**NINLARO®** OD Proteasome inhibitor MM R/R (EM), R/R Amyloidosis, Front Line MM, R/R Myeloma doublet regimen, Maintenance MM post-SCT Maintenance MM w/o SCT **ADCETRIS®** OD Seattle Genetics CD30 ADC FL HL, FL MTCL, CTCL **ALUNBRIG®** OD (brigatinib) ALK inhibitor ALK+NSCLC (EU), FL ALK+ NSCLC **ICLUSIG®** OD BCR-ABL inhibitor Imatinib resistant Chronic Phase CML Second-Line Chronic Phase CML, Ph+ ALL **Cabozantinib** Exelixis VEGFR/RTK inhibitor RCC, HCC (JP) **Niraparib** OD Tesaro PARP 1/2 inhibitor Multiple cancer (JP)
消化器系疾患	**TIMP-Gliadin** Cour Imm. Tol. Induction Celiac Disease	**TAK-906** D2/D3R Antagonist Gastroparesis **TAK-954** Theravance Biopharma 5-HT4R agonist Enteral Feeding Intolerance		**ENTYVIO®** OD α4β7 mAb UC/CD (EM), UC (JP), CD (JP), adalimumab H2H Sub-Q UC, Sub-Q CD, GvHD Prophylaxis, GvHD-SR **Vonoprazan** PCAB ARD (Asia), NERD (JP) **AMITIZA®** Sucampo Chloride channel activator Pediatric constipation, New formulation **ALOFISEL** OD TiGenix mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD
ニューロサイエンス（神経精神疾患）	**TAK-653** AMPAR potentiator TRD **MEDI-1341** AstraZeneca Alpha-syn mAb Parkinson's Disease **TAK-418** OD LSD1 inhibitor Kabuki Syndrome **TAK-925** OD Orexin 2R agonist Narcolepsy **TAK-041** GPR139 agonist CIAS neg. symptoms	**TAK-935** OD Ovid Therapeutics CH24H inhibitor Rare Pediatric Epilepsies **TAK-831** OD DAAO inhibitor SCZ, Ataxia		**TRINTELLIX™** Lundbeck Multimodal anti-depressant Cognition data in label MDD (JP)
ワクチン	**TAK-021** EV71 Vaccine **TAK-426** BARDA Zika Vaccine	**TAK-195** Gates Foundation Inactivated Polio Vaccine **TAK-214** Norovirus Vaccine	**TAK-003** Dengue Vaccine	

▶ 2017年度のステージアップ（2017年4月１日以降）

OD オーファンドラッグ指定

2018年3月31日現在のパイプライン。すべてのエリアを記載しているわけではありません。

研究開発の活性化 – 生産性向上のために

研究拠点

日本
- ニューロサイエンス
- 再生医療
- ワクチン

米国
- オンコロジー（がん）
- 消化器系疾患
- ワクチン

外部パートナーシップ

疾患領域

オンコロジー（がん）
7 件の新たなパートナーシップ
- GAMMADELTA THERAPEUTICS
- Heidelberg PHARMA
- tem
- TESARO
- NOILE-IMMUNE BIOTECH
- SHATTUCK LABS
- NEKTAR

消化器系疾患
12 件の新たなパートナーシップ
- BEACON DISCOVERY
- HEMOSHEAR THERAPEUTICS
- TiGENIX Living Medicines
- PRANA BIOTECHNOLOGY
- The University of Vermont
- BioSurfaces
- Portal Instruments
- HiFiBiO THERAPEUTICS
- Karolinska Institutet
- NUBIYOTA

ニューロサイエンス
5 件の新たなパートナーシップ
- AstraZeneca
- DENALI THERAPEUTICS
- WAVE LIFE SCIENCES
- mindstrong

機能の拡充

外部導出を通じたバリュークリエーション
5 製品の導出
- CARDURION PHARMA
- IZANA BIOSCIENCE
- SCOHIA
- SAMSUNG BIOEPIS
- rhythm

8 つの新会社設立（アントレプレナーシップベンチャープログラム）
- Aikomi
- ChromaJean Co.
- Chordia Therapeutics
- FIMECS
- GEXVal
- SEEDSUPPLY
- RebioRA

プラットフォーム
6 件の新たなパートナーシップ
- FUJIFILM Value from Innovation
- HITGEN 先导药物
- isogenica
- Numerate
- SELEXIS
- SCHRÖDINGER

TAKcelerator
希少疾患エンジン
2 件の希少疾患への取り組み
- Harrington Discovery Institute
- RECURSION pharmaceuticals

アカデミアとのアライアンス
2 件の新たなアライアンス
- FRED HUTCH
- Leland Stanford Jr. University

武田ベンチャー
1 つの新たな投資
- OBSIDIAN

上記のリストがすべてではありません。 商標または登録商標は各社の所有物です。

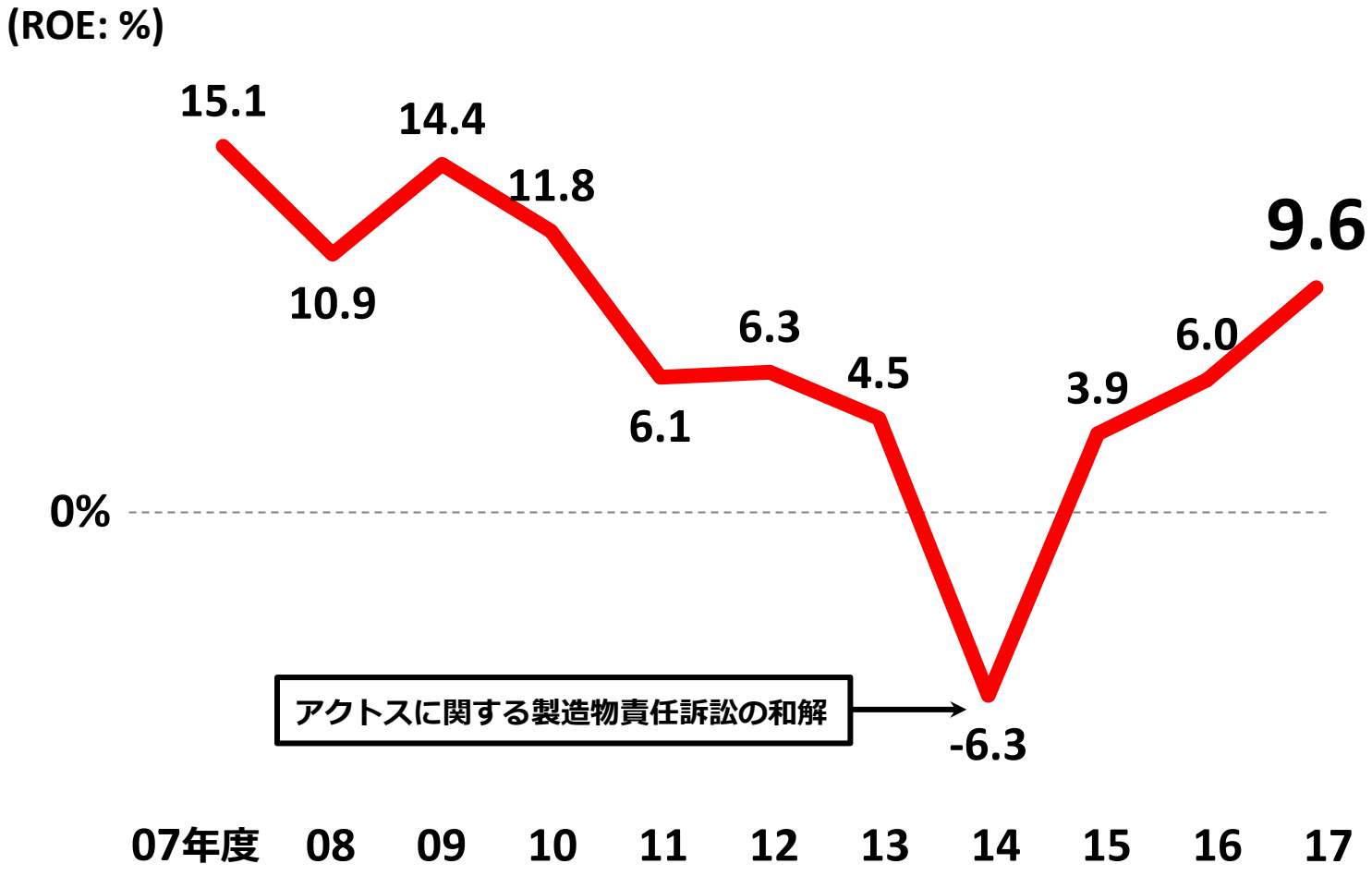
2017

2017年度実績

	実績
実質的な売上収益	+ 5.5 %
実質的なCore Earnings	+ 40.2%
実質的なCore EPS	+ 44.8 %

備考:
実質的な成長は、為替影響および例外的な事象の影響を除外
Core Earnings：営業利益から例外的な事象の影響を除外して算出

ROEは回復傾向に


(ROE: %)
15.1
10.9
14.4
11.8
6.1
6.3
4.5
-6.3
3.9
6.0
9.6
0%
アクトスに関する製造物責任訴訟の和解
07年度
08
09
10
11
12
13
14
15
16
17

2018

2018年度はベルケイドの特許切れにもかかわらず売上・利益の成長を維持

2018年度 マネジメントガイダンス

	2018年度 マネジメントガイダンス
実質的な売上収益	1桁台前半成長　(%)
実質的なCore Earnings	1桁台後半成長 (%)
実質的なCore EPS	10%台前半成長 (%)

2018年度の1株当たり年間配当金は180円を維持

シャイアー社の買収

変革を加速させ、患者さんにさらに貢献する

世界の医薬品市場の推移

米国と新興国が市場の成長を牽引

	1994 (%: 世界における割合)	2017 (%: 世界における割合)	2025 (%: 世界における割合)	年平均成長率 '17-'25
世界	252	1,157	1,657	5%
米国	80 (32%)	465 (40%)	703 (42%)	5%
EU5カ国	50 (20%)	167 (14%)	210 (13%)	3%
日本	53 (21%)	84 (7%)	77 (5%)	-1%
新興国・その他	70 (28%)	441 (38%)	667 (40%)	5%

(単位：10億ドル)

資料：Market Prognosis Global Long Term Forecast (2018年5月22日時点) (転載禁止)

シャイアー社買収によりタケダの変革を加速させる

「常に患者さんを中心に考え」、「社会との信頼関係を築き」、
「レピュテーションを向上させ」、「事業を発展させる」ことへのコミットメント

- 戦略面での合理性
- 相互補完的なパイプライン
- 地理的な拡大
- 財務面の強化

シャイアー社買収によりタケダの変革を加速させる

「常に患者さんを中心に考え」、「社会との信頼関係を築き」、
「レピュテーションを向上させ」、「事業を発展させる」ことへのコミットメント

- 戦略面での合理性
- 相互補完的なパイプライン
- 地理的な拡大
- 財務面の強化

戦略面での合理性

- 3つの重点領域のうち2領域を強化 (消化器系疾患及びニューロサイエンス)
- 希少疾患及び血漿分画製剤においてもリーディングポジションを獲得することで、オンコロジーの強みならびにワクチンへの注力を補完

	オンコロジー	消化器系疾患	ニューロサイエンス	希少疾患			血漿分画製剤	その他（主な主要製品）
				ライソゾーム病	HAE[2]	ヘマトロジー		
タケダ主要製品	NINLARO ADCETRIS ALUNBRIG ICLUSIG VELCADE	Entyvio Takecab amitiza DEXILANT ALOFISEL	Trintellix vortioxetine				献血グロベニン-I 献血ノンスロン 献血アルブミン	Nesina Uloric Colcrys AZILECT edarbi AZILVA® ...etc.
シャイアー社主要製品		Gattex PENTASA Lialda	Vyvanse intuniv Mydayis BUCCOLAM	elaprase VPRIV REPLAGAL	CINRYZE firazyr KALBITOR	ADVATE FEIBA ADYNOVATE vonvendi RIXUBIS AGRYLIN Obizur	Cuvitru GAMMAGARD LIQUID HyQvia Flexbumin Glassia Aralast NP	xiidra Natpara ...etc.

全売上における 約75%[1]

出所: 2017年シャイアー社アニュアルレポート、2017年3月期タケダ連結財務諸表
注: パーセンテージは、タケダについては2017年3月までの12か月間の数値及び当時の為替レートである1ドル=111.43円を、シャイアー社については2017年12月までの12か月間の数値及び当時の為替レートである1ドル=112.65円を使用し算出。 (1) Management Data (2) 遺伝性血管性浮腫

戦略面での合理性

相互補完的な
パイプライン

地理的な拡大

財務面の強化

相互補完的な
パイプライン

多様なモダリティの充実したパイプライン

タケダ　シャイアー社　OD オーファンドラック指定

	PHASE 1	PHASE 2	PHASE 3/申請	承認*
オンコロジー	**TAK-573** Teva Anti-CD38-attenukine **Refractory MM** **XMT-1522** Mersana Therapeutics HER2 dolaflexin ADC **HER2 + solid tumors** **TAK-079** Anti-CD38 mAb Refractory MM **TAK-788** EGFR/HER2 inh **NSCLC**	**sapanisertib** mTORC 1/2 inhibitor Breast cancer **TAK-659** OD SYK inhibitor DLBCL **TAK-931** CDC7 inhibitor Solid Tumors	**relugolix** Myovant GNRH antagonist Prostate Cancer (JP) **pevonedistat** OD NAE inhibitor HR MDS	**NINLARO®** OD Proteasome inhibitor MM R/R (EM), R/R Amyloidosis, Front Line MM, R/R Myeloma doublet regimen, Maintenance MM post-SCT Maintenance MM w/o SCT **ADCETRIS®** OD Seattle Genetics CD30 ADC FL HL, FL MTCL, CTCL **ICLUSIG®** OD BCR-ABL inhibitor Imatinib resistant Chronic Phase CML Second-Line Chronic Phase CML, Ph+ ALL **ALUNBRIG®** OD **(brigatinib)** ALK inhibitor ALK+NSCLC (EU), FL ALK+ NSCLC **cabozantinib** Exelixis VEGFR/RTK inhibitor Solid tumors (JP) **Niraparib** OD Tesaro PARP 1/2 inhibitor Multiple cancer (JP)
消化器系疾患	**TIMP-Gliadin** Cour Imm Tol Indcution Celiac Disease	**TAK-906** D2/D3R Antagonist Gastroparesis **TAK-954** Theravance Biopharma 5-HT4R ag Enteral Feeding Intolerance **SHP625** OD ASBTi PFIC, Alagille's **SHP626** ASBTi NASH	**SHP621** OD BOS EoE **SHP647** MAdCAM-1 mAb IBD	**ENTYVIO®** OD α4β7 mAb UC/CD (EM), UC (JP), CD (JP), adalimumab H2H Sub-Q UC, Sub-Q CD, GvHD Prophylaxis, GvHD SR, IO Colitis **Vonoprazan** PCAB ARD (Asia) , NERD (JP) PPI Partial Responder **AMITIZA®** Sucampo Chloride channel activator Pediatric constipation , New formulation **ALOFISEL** OD Tigenix mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD **GATTEX** GLP-2 SBS **RESOLOR** prucalopride CIC
ニューロサイエンス	**TAK-653** AMPAR potentiator TRD **TAK-418** OD LSD1 inhibitor Kabuki Syndrome **MEDI-1341** Astra Zeneca Alpha-syn mAb Parknoson's Disease **TAK-925** OD Orexin 2R agonist Narcolepsy **SHP680** Neurologic Conditions **TAK-041** GPR139 agonist CIAS neg. symptoms	**TAK-935** OD Ovid Therapeutics CH24H inhibitor Rare Pediatric Epilepsies **TAK-831** OD DAAO inhibitor SCZ, Ataxia		**TRINTELLIX™** Lundbeck Multimodal anti-depressant Cognition data in label (CRL received) MDD (JP) **BUCCOLAM** seizures **VYVANSE** ADHD **MYDAYIS** ADHD
希少疾病	**SHP611** OD ERT MLD **SHP631** OD ERT Hunter CNS **SHP654** OD Gene therapy HemA	**SHP607** OD IGF-1/ IGFBP3 Chronic Lung Disease	**Lanadelumab** OD Anit-kallikrein mAb HAE **SHP620** CMV infection in transplant patients **SHP609** OD Hunter (IT) **SHP655** OD ERT/ ADAMTS-13 cTTP	**FIRAZYR** OD HAE **VONVENDI** OD vWD **CINRYZE** OD HAE, AMR **OBIZUR** OD CHAWI Surgery
血漿分画製剤				**HYQVIA** OD Pediatric PID, CIDP
ワクチン	**TAK-021** EV71 Vaccine **TAK-426** BARDA Zika Vaccine	**TAK-195** Gates Foundation Inactivated Polio Vaccine **TAK-214** Norovirus Vaccine	**TAK-003** Dengue Vaccine	
眼科領域	**SHP639** Glaucoma	**SHP659** DED	**SHP640** Infectious conjunctivitis	**XIIDRA** DED

注: SHP652とNatparaは「その他」に分類されるため本資料には記載なし *臨床開発活動中のものを含む　2018年2月1日現在のパイプライン。

戦略面での合理性

相互補完的な
パイプライン

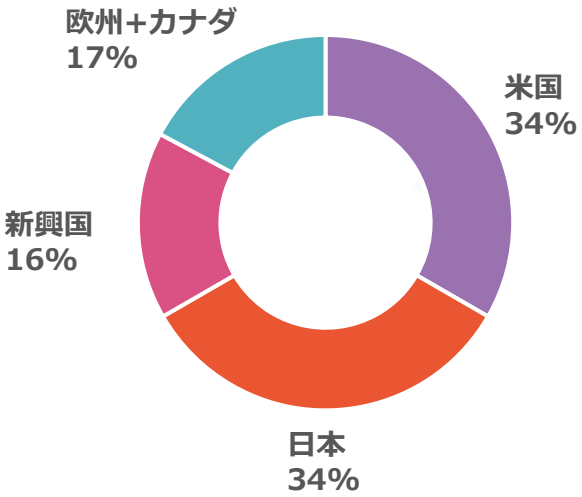
地理的な拡大

財務面の強化

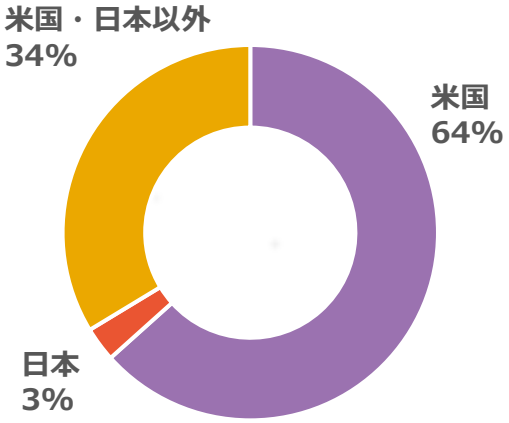
地理的な拡大

世界各地域の市場規模に対応した事業展開

Takeda[1]

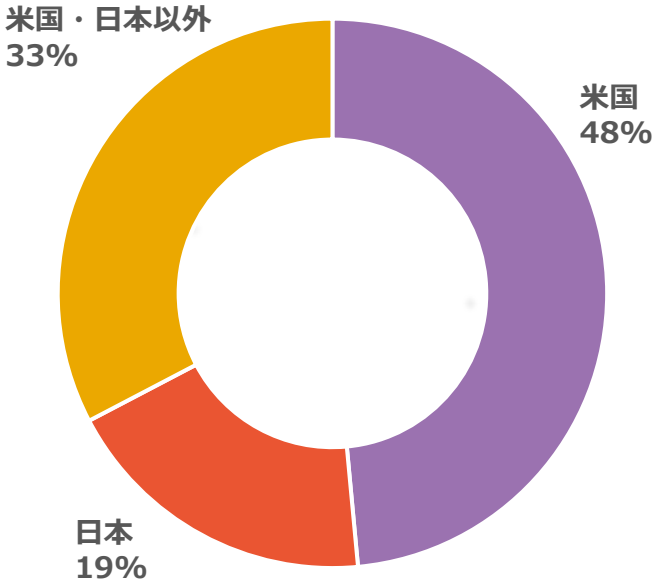


Shire[2]



統合後

過去実績ベースの試算



出所: 2017年シャイアー社アニュアルレポートとマネジメントインフォメーション、2017年3月期タケダ連結財務諸表、2018年3月期第3四半期タケダ連結財務諸表
注: パーセンテージは、(1)タケダについては2017年12月31日までの12ヶ月間（2017年3月期第4四半期+2018年3月期第1～第3四半期）の地域別売上高および2017年12月31日の為替レートである1ドル=112.65円を、(2)シャイアー社については2017年12月31日までの12ヶ月間の地域別売上高を使用して算出　統合後については、両社の地域別売上高を合算して計算

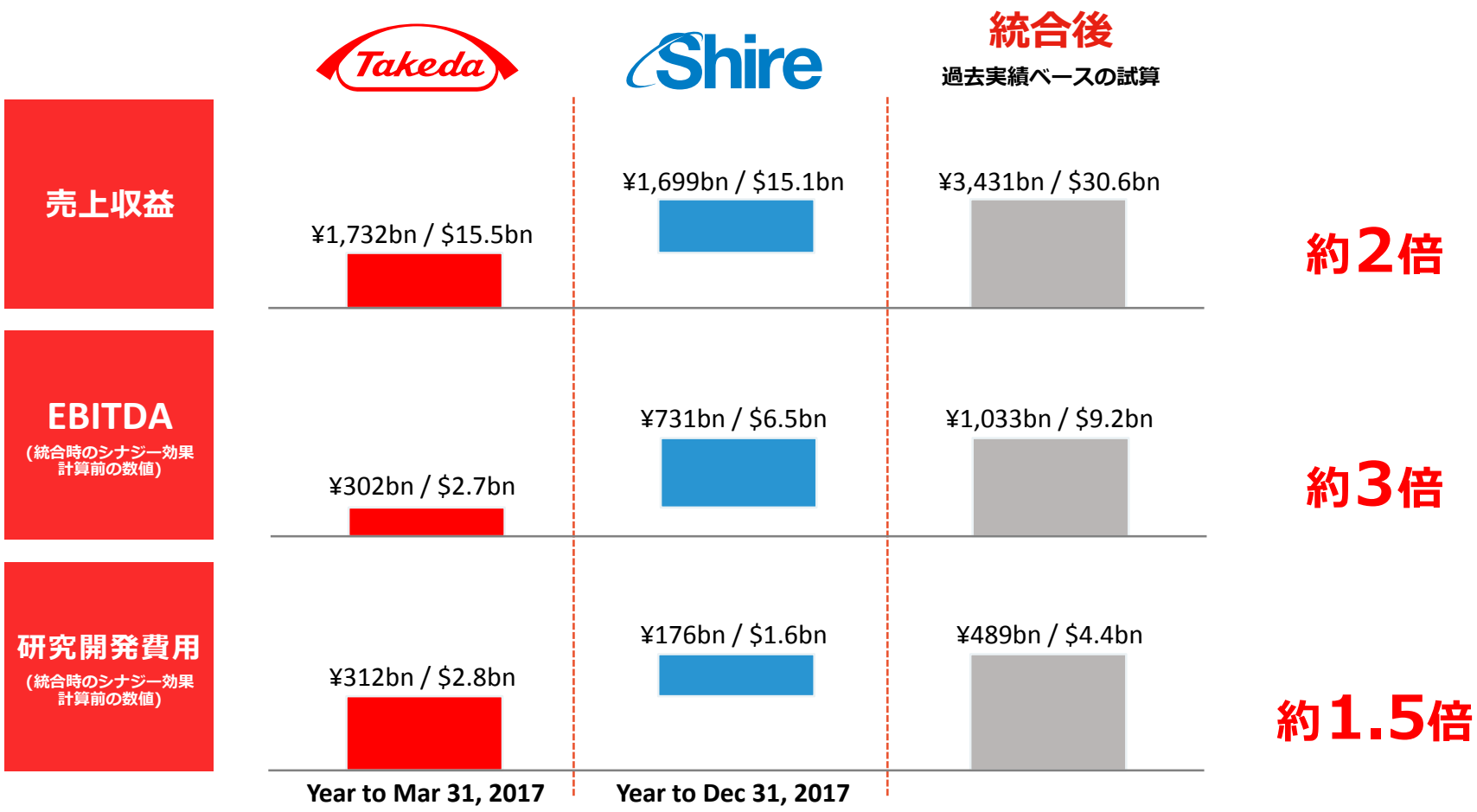
戦略面での合理性

相互補完的な
パイプライン

地理的な拡大

財務面の強化

EBITDA の拡大 （シナジー前）



出所： 2017年シャイアー社アニュアルレポート、2017年3月期タケダ連結財務諸表、過去の為替レートはFactSet
注：売上収益、EBITDA及び研究開発費用のそれぞれの実績値は(a)タケダについては2017年3月までの12ヶ月の数値を当時の為替レートである1ドル111.43円にて換算し、(b)シャイアー社については、2017年12月までの12ヶ月の数値を当時の為替レートである1ドル112.65円にて換算し合算した数値となります。これらの数値は実績値であり、数値確定後に生じたであろう事業売却またはその他のイベントは考慮しておりません。売上収益合計値はタケダの財務諸表上の売上収益とシャイアー社の売上収益（Non GAAP）にて構成されております。EBITDA合計値は各社のアニュアルレポートにて定義されている、タケダのEBITDA（その他営業損益、減価償却費、のれん償却費及び、減損損失調整後営業利益）とシャイアー社のEBITDA（Non GAAP）にて構成されております。研究開発費用合計値は、タケダの財務諸表上の研究開発費用及び、シャイアー社の研究開発費用（Non GAAP）にて構成されております。

買収による利益の大幅な増加

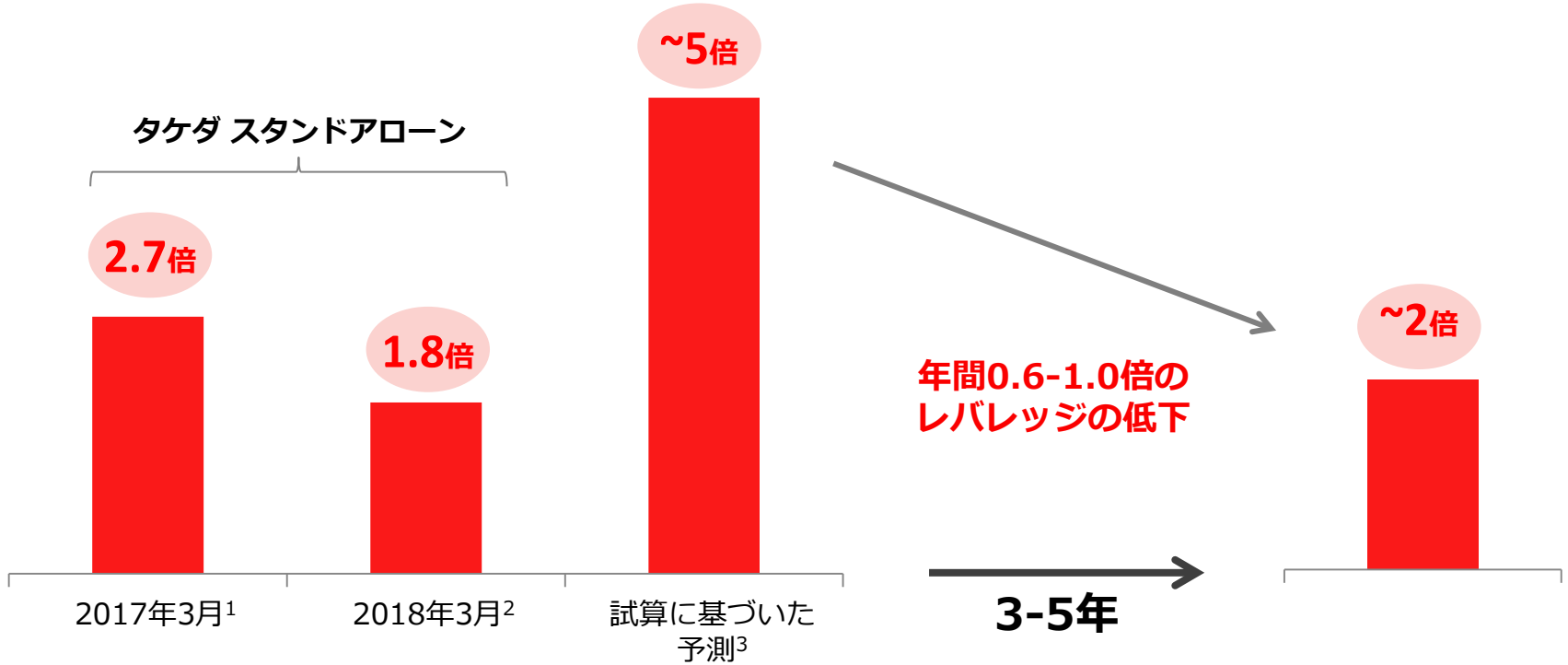
レバレッジ（純有利子負債/EBITDA倍率）低下を実現する確たる要素

- 買収完了後、3事業年度末までに少なくとも年間1,530億円（14億ドル）の税引き前コストシナジーを想定[1]
- タケダの発行済株式総数は約2倍になる一方、EBITDAは約3倍に拡大（過去実績ベースによる試算）[2]
- 株主還元における重要要素として、確立された配当方針を維持
- 買収完了後、1株当たりの利益が大幅に増加[3]
- 投下資本利益率（ROIC）は買収完了後、最初の通期事業年度において当社資本コストを上回る見通し

注: 1 当社取締役は、統合会社における定常税引前コストシナジーが、買収完了後3事業年度末日までに少なくとも年間14億ドルの水準に到達することを想定（5月8日時点の為替レート1ドル＝108.97円]）。これらはTakeover CodeのRule 28.1に則り記載されており、関連する報告は、シナジーの算出方法やシナジー達成によるコストに関する情報と合わせて、2018年5月8日付の当社による2.7アナウンスメントに開示。2過年度財務数値を基にしたプロフォーマEBITDAは、5月4日時点の為替レート1ドル＝108.97円に基づく2018年3月期末の当社のEBITDA（その他営業損益・無形資産の償却費及び減損・ソフトウェア償却費・固定資産減価償却費・その他一次費用の調整後営業利益）及び、シャイアー社の2018年3月31日までの12ヶ月間EBITDA（2017年度第2-4四半期と2018年度第1四半期合算）より構成。3 買収により収益が増加するとの発表は、利益見通しまたは推定を意図しておらず、解釈されるべき内容ではありません。そのため、この発表はTakeover code28の要件に合致するものではありません。現在又は将来における利益及び1株あたり利益が、確実に当社またはシャイアー社の過去の公表された1株当たり利益と同水準もしくは上回ることを意味すると解釈されるべきではありません

レバレッジの低下によりタケダの資本価値を高める

レバレッジ（純有利子負債/EBITDA倍率）の推移



タケダはレバレッジの低下とポートフォリオの合理化において、強固な実績を有する

注: 1 2017年3月31日年度末の連結財務諸表； 2 2018年3月31日年度末の連結財務諸表；3 想定プロフォーマ純有利子負債/ EBITDA ~5x は、想定プロフォーマ純有利子負債 $52,610mmを用いて算出。なお、この想定プロフォーマNet Debtは以下3項目の合計；（1）2018年第1四半期時点のシャイアー社純有利子負債 $18,203mm、（2）2018年5月8日時点の為替レート1ドル=108.97円に基づくタケダの2018年3月期末の純有利子負債 $6,343mm、（3）シャイアー社1株あたり現金30.33ドルに、2018年5月8日のタケダによる2.7アナウンスメント（以下「2.7アナウンスメント」）にて開示されているシャイアー社の937,925,528株の発行済株式及び発行予定普通株式を積算して算出されたオファーに基づく全現金対価。想定プロフォーマEBITDAは以下3項目の合計；（1）2018年5月4日時点の為替レート1ドル=108.97円に基づくタケダの2018年3月期末EBITDA（その他営業損益・無形資産の償却費及び減損・ソフトウェア償却費・固定資産減価償却費・その他一次費用の調整後営業利益）、（2）シャイアー社の2018年3月31日までの12ヶ月間EBITDA（2017年度第2-4四半期と2018年度第1四半期合算）、（3）少なくとも年間14億ドルと想定と想定される年間のコストシナジーはTakeover CodeのRule 28.1に則り記載されており、関連する報告は、シナジーの算出方法やシナジー達成によるコストに関する情報と合わせて、2018年5月8日付の当社による2.7アナウンスメントに開示

シャイアー社の統合

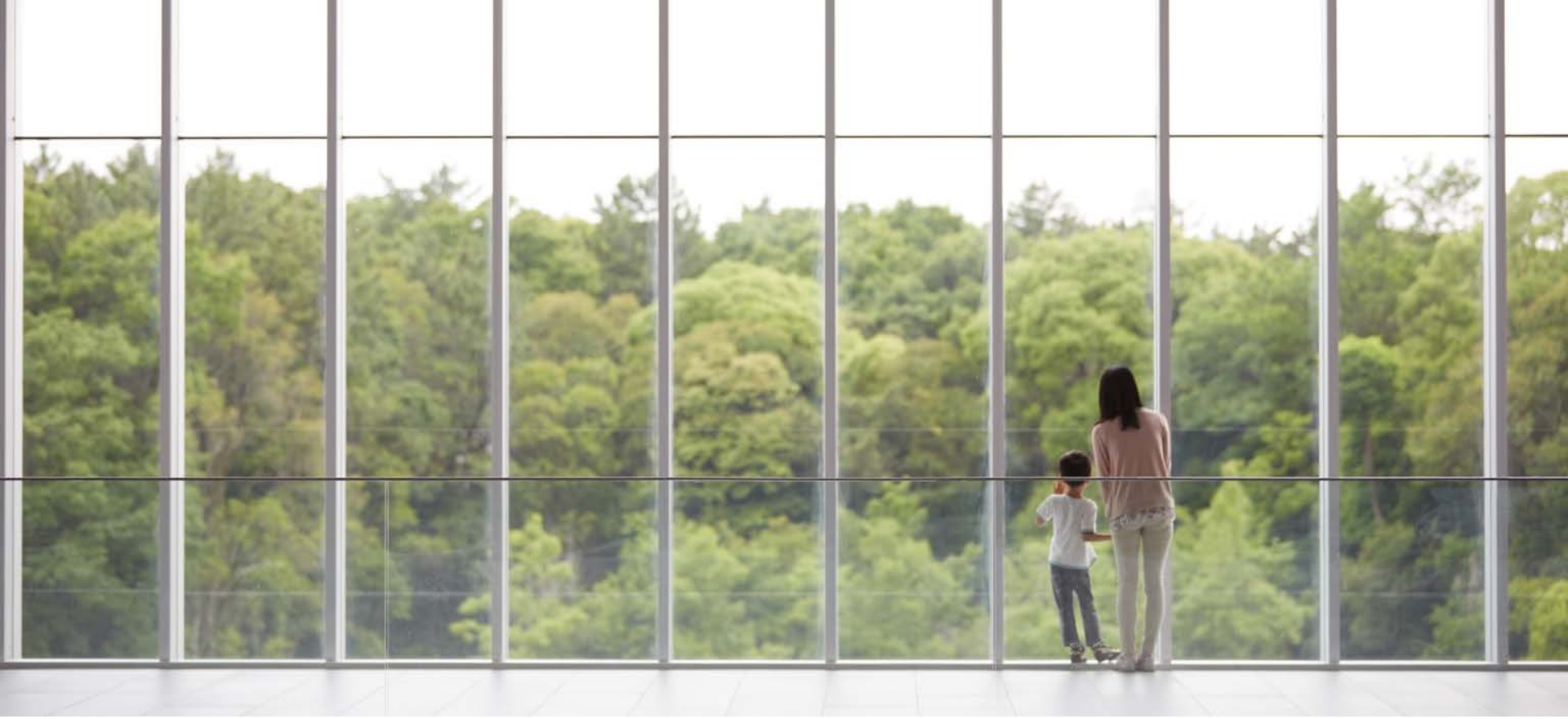
「タケダイズム」と「患者さん中心 > 社会との信頼関係構築 > レピュテーション向上 > 事業の発展」という価値観がカルチャーを推進

日本に本社を置く、
競争力のある研究開発型のバイオ医薬品企業

東京証券取引所に加えて、
ニューヨーク証券取引所（ADS）に上場

タケダとシャイアー社の従業員の知識・経験を最大限に生かし、変革を加速

タケダグローバル本社



Better Health, Brighter Future

武田薬品工業株式会社